

女流義太夫普及公演

# ぎだゆう座

## 四月公演

二〇二五年 四月一日（火）・二日（水）

【開場】十八時

【開演】十八時三〇分

「二日（火）」

解説…竹本 越里

由良湊千軒長者 山別れの段

浄瑠璃 竹本 綾一 三味線 鶴澤津賀花

奥州安達原 袖萩祭文の段

浄瑠璃 竹本土佐恵 三味線 鶴澤 駒清

「三日（水）」

解説…竹本 孝矢

仮名手本忠臣蔵 裏門の段

浄瑠璃 竹本孝之資 三味線 鶴澤 駒治

奥州安達原 袖萩祭文の段

浄瑠璃 竹本土佐恵 三味線 鶴澤 駒清



【ところ】お江戸上野広小路亭 TEL | 03-3833-1789 (11:00~19:00、不定休)

- ・JR 山手線 御徒町駅北口より徒歩3分
- ・東京メトロ銀座線 上野広小路駅A4出口より徒歩1分
- ・都営地下鉄大江戸線 上野御徒町駅A4出口より徒歩1分

【入場料】前売 | 2,000 円 18歳未満 | 1,000 円 当日 | 2,500 円

【お申し込み】(E-mail) jyogi.gidayuza@gmail.com

【お問い合わせ】一般社団法人義太夫協会

TEL | 03-6264-3047 (平日 10:00~17:00)

HP | <https://www.gidayu.or.jp>

【主催】ぎだゆう座 【共催】永谷商事株式会社



## 【1日】

### 由良湊千軒長者 山別れの段

父である岩木判官を策略によって失った安寿と対王丸は、母親らと共に人買いに掠われ、母は佐渡へ、姉弟は丹後の由良で三莊太夫に売り渡されてしまいます。辛い労働を強いられる安寿と対王丸は、身の不幸を嘆きながらもお互いを思いやって暮らしていました。その境遇のあまりの辛さに対王丸は自害しようとしませんが、姉の安寿はそれをなんとか押しとどめ、姉は浜へ、弟は山へと、涙ながらに別れて行きます。

## 【両日】

### 奥州安達原 袖萩祭文の段

僊仗直方の娘袖萩は、父に背いて浪人と不義をしたため勘当され、流浪の末に盲目となり、娘お君と瞽女になっています。袖萩は偶然出会った僊仗の家来の言葉から父が難儀に遭っていることを知り、娘を伴い環の宮の御殿へと向います。雪の降りしきる中、父のいる御殿にたどり着いた袖萩は、祭文に託して不孝をわび、娘お君に会ってほしいと願います。袖萩の夫が安倍貞任であることを知った僊仗は、敵方の妻となった娘とはなおさら会われぬと、雪の中に母娘を置き、家に入ります。寒さと悲しさから袖萩は癪を起こし、お君は自分の着物を脱いで袖萩にかけ看病します。その不憫な様子を見た袖萩の母浜夕は、垣越しに自分の打掛を投げ与えます。

## 【2日】

### 仮名手本忠臣蔵 裏門の段

塩谷判官の家来・勘平はおかるとの逢瀬の最中、塩谷判官による高師直への刃傷沙汰を耳にし、裏門へ駆け戻ります。主人の大事に居合わせず恥じた勘平は、追いついたおかるに腹を切って詫びるといいますが、おかるに止められます。師直の家来鷲坂伴内を追い散らしおかるの在所山崎へと落ちて行くのでした。

## 次回予告

2025年6月のぎだゆう座は **25周年記念公演**

1日(日)・2日(月)

特別番組を予定  
乞うご期待

### 《お客様へのお願い》

- ＊ 会場備え付けのスリッパは使用できません。  
必要な方はご持参下さい。

- ＊ マスクの着用を推奨しております。
- ＊ 37.5℃以上の発熱のある方、それ以外でも咳・痰の症状があるなど体調の悪い方は来場をお控え下さい。
- ＊ 演奏中の許可のない録音・撮影は、お断り申し上げます。